

# 接 近 し た エ ロ ス

(表紙及び本文 133 頁参照)

## 双子座で接近中のエロス

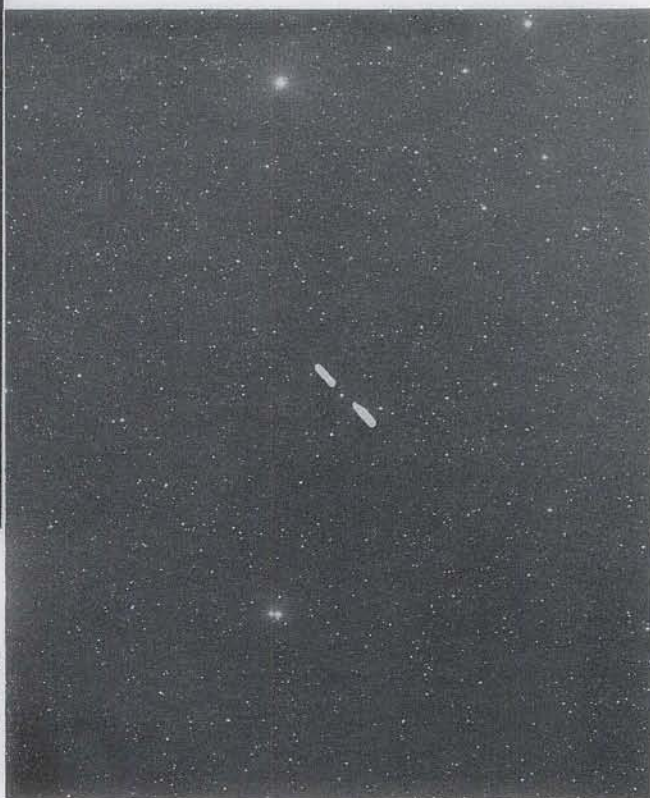
堂平観測所 50cm シュミットカメラにて。

- ◀ 1975年1月13日 24時53分0秒—24時55分0秒。  
 $\alpha=7^{\text{h}}52^{\text{m}}$ ,  $\delta=+36^{\circ}8'$ , FLO II 乾板, D19, 4.5分現像。
- ▼ 1975年1月17日 24時24分0秒—24時26分0秒。  
 $\alpha=7^{\text{h}}50^{\text{m}}$ ,  $\delta=+32^{\circ}7'$ , 103a-0 乾板, D19, 4.5分現像。



## PZT に撮影されたエロス

1975年1月14日 23時58分, エロス ( $\alpha=7^{\text{h}}51^{\text{m}}39^{\text{s}}.79$ ,  $\delta=+35^{\circ}49'31''.8$ , 天頂距離・北  $0^{\circ}9'$ , 8.1等級) が, 三鷹の東京天文台のほぼ天頂を通過し, 写真天頂筒 (PZT) の視野 (40分角) の中に入った。エロスはこの時期には1日に  $66'$  の割で南に動いているので, 観測出来る可能性は約  $2/3$  であった。



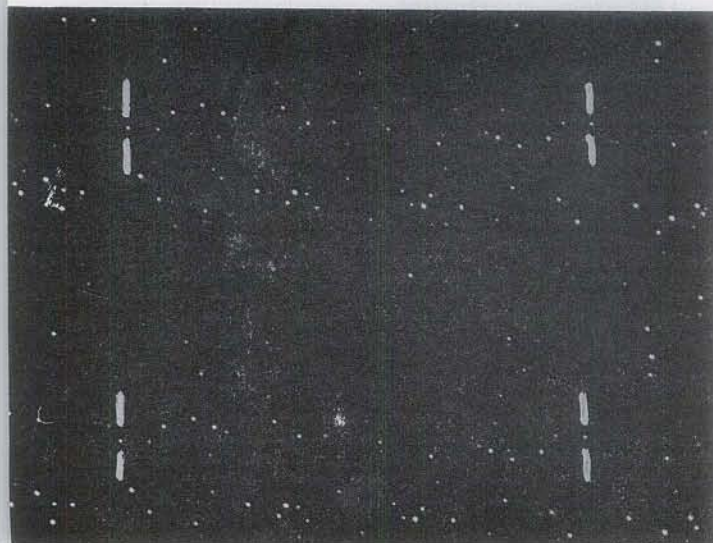
## 表 紙 説 明

### 南に運動するエロス

岡山天体物理観測所 188cm 反射ニュートン焦点で 30秒露出, 30秒休止の繰り返しで撮影, 休止中取枠を 1mm づつ東西方向に移動したため, 南に運動するエロスがななめに写った。(1975年1月14日撮影,  $\alpha=7^{\text{h}}52^{\text{m}}$ ,  $\delta=+35^{\circ}8'$ )

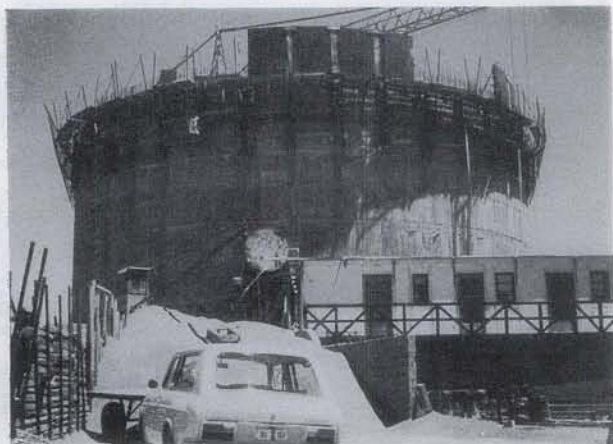
### エロスの光度変化

堂平観測所の 91cm 反射カセグレン焦点につけた光電測光装置による記録紙の一部, フィルターは V(黄色) を使用。エロスの運動が早いため, 露光中にダイアフラムからはずれるので, 時々チェックした。比較星と空の測定がとところどころにある。エロスの光度変化がよくわかる。(1974年12月6日観測)



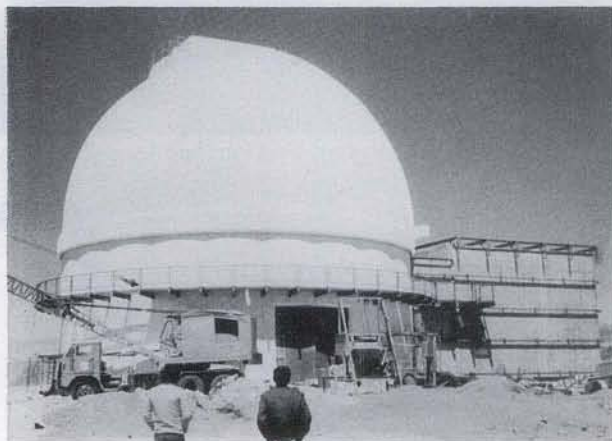
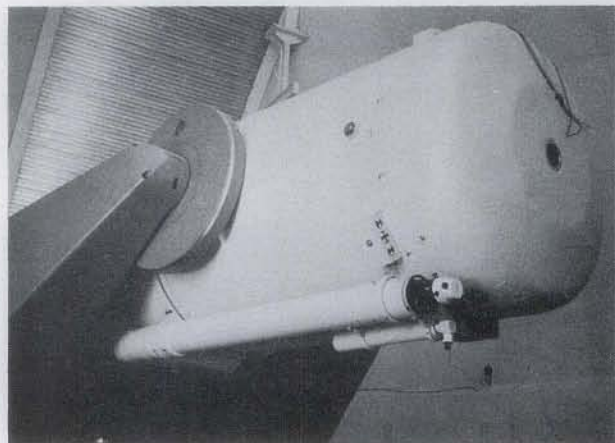
# チリの天文台

(本文 129 頁参照)



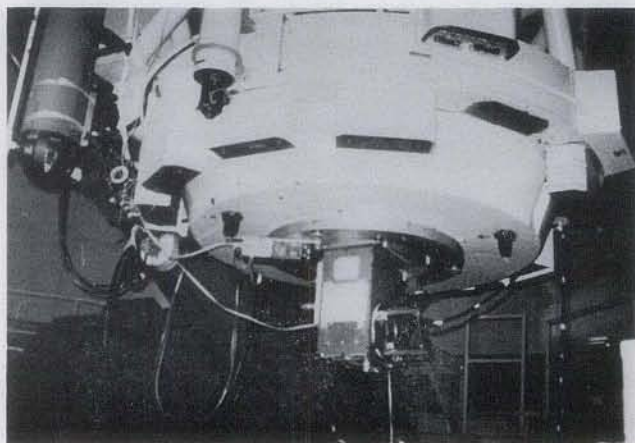
◀ 建設中の ESC 3.6m 用ドーム建物

ESO 大型シュミット望遠鏡 ▶



◀ ラスカンパナス 2.5m 用ドーム

セロトロロ 60 吋望遠鏡 ▶

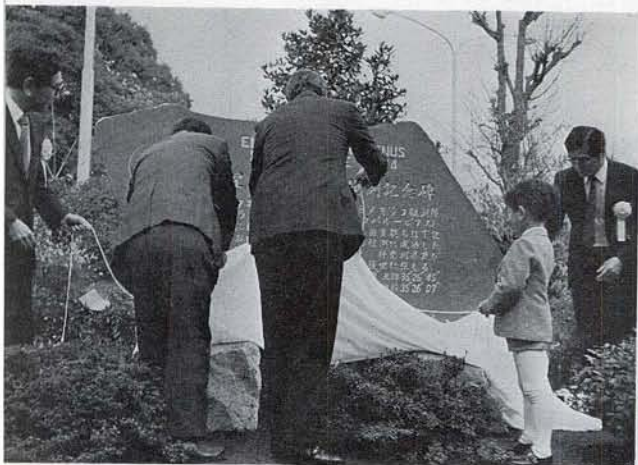


# 横浜に金星日面経過記念碑が完成

明治7年12月9日の金星日面経過を観測するために来日したメキシコ隊の観測を記念し、満100年にあたる昭和49年に、観測地にほど近い横浜市紅葉ヶ丘の神奈川県青少年センターの敷地の一角に、地元の有志の発議になる記念碑が、神奈川県と横浜市の援助により完成した。その除幕式と記念講演会が昭和49年12月8日におこなわれた。



▲ 完成した記念碑



▲ 除幕する関係者

右より、進士水路部編歴課長・大森氏令孫、メキシコ大使・横浜市長代理・神奈川県知事代理。



▲ 挨拶するメキシコ大使



▲ アメリカ、ジョージタウン大学リー・ハウチンス教授の記念講演

日本天文学会理事長・斉藤国治氏の記念講演 ▶

